

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	総務課担当課長 渡邊 好二	
総務-06	実施事業	統計事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の利用や、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
効果	市民等に情報提供し、各種施策の基礎資料として利用する。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 統計調査を行うための基本的な管理事務を行った。 統計情報を広く提供した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	81,763世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	2,204	2,147	当初予算(千円)	2,493	2,493		
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	7	6	その他	8	8		
	一般財源	2,197	2,141	一般財源	2,485	2,485		
	人員配置数	0.6	0.6	人員配置数	0.6	0.6		
事業経費運営	人件費(千円)	4,516	4,598	人件費(千円)	4,636	4,636		
	総事業費(千円)	6,720	6,745	総事業費(千円)	7,129	7,129		
	市民1人当りの経費(円)	38	38	市民1人当りの経費(円)	40	40		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業内容は適切であり、市民生活に関する施策等の基礎資料となる各種統計調査を円滑に進めるために統計調査員の確保を行い、実現した統計調査の結果を速やかに提供するため、現状維持の必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	各種統計データの提供手段として、ホームページでの公開や統計年報として「鎌倉の統計」を発行した。また、人口統計にかかるオープンデータの拡充を図った。統計情報は庁内外で活用されるものであり、現状の方向性・予算を確保する必要があるものとする。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	統計データの拡充、利用の促進	
課題解決のために行った平成29年度の取組	オープンデータの拡充を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	統計情報の利用促進	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	近隣各市「統計年報」の収録資料数								
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	平均
他市実績	181	210	203	175	191	222	121	161	183

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考					
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--